

平成22年3月期 第2四半期決算説明会

2009年11月4日 尼崎
11月5日 東京

メック株式会社

証券CODE:4971

URL <http://www.mec-co.com/>

第2四半期累計業績の概況

単位：百万円

連結

	平成21年3月期 第2四半期	平成22年3月期 第2四半期
売上高	4,449	2,741
営業利益	996	260
経常利益	1,033	261
四半期純利益	779	229

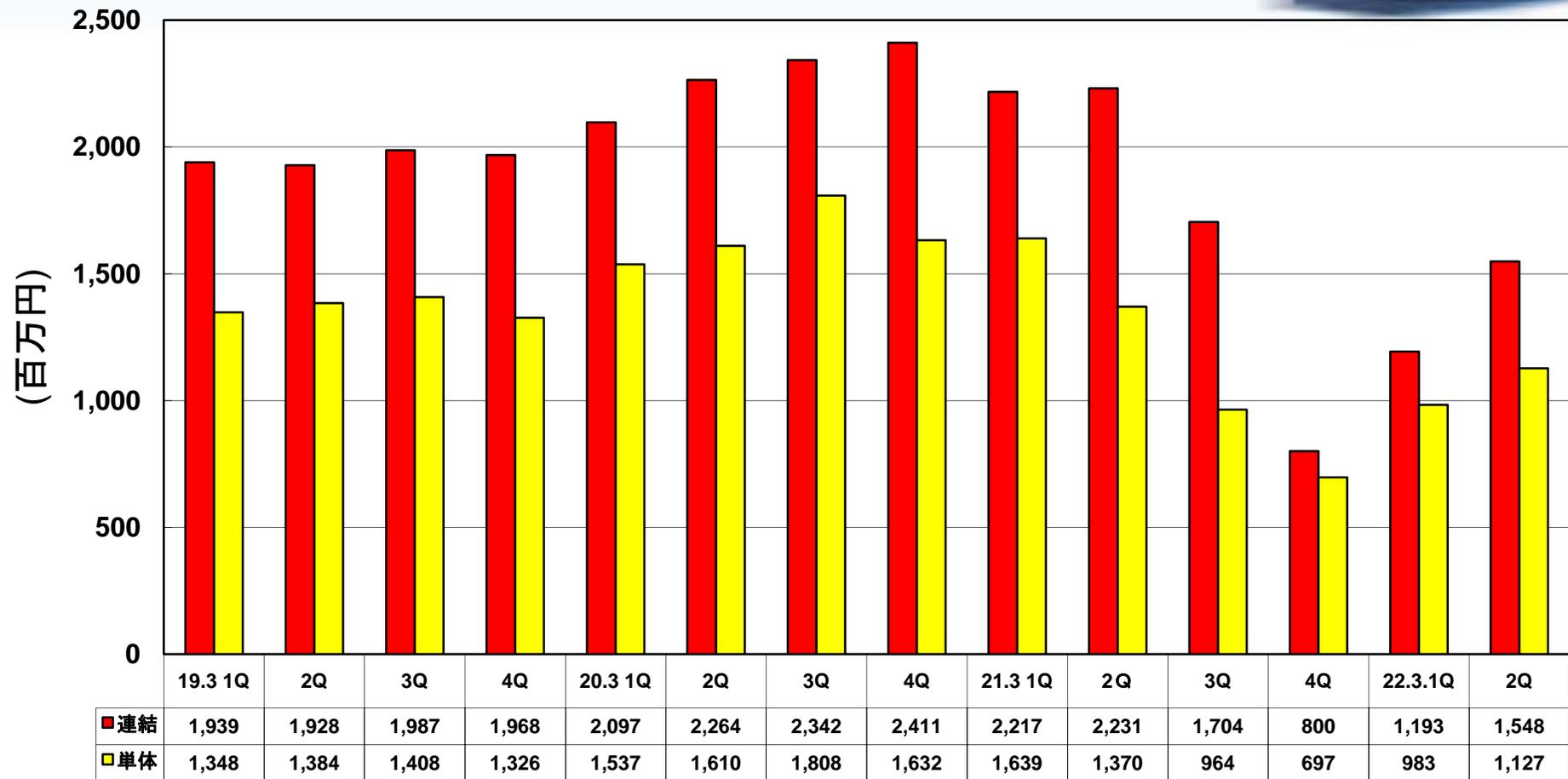
単体

	平成21年3月期 第2四半期	平成22年3月期 第2四半期
売上高	3,010	2,110
営業利益	272	△23
経常利益	293	△47
四半期純利益	254	△23

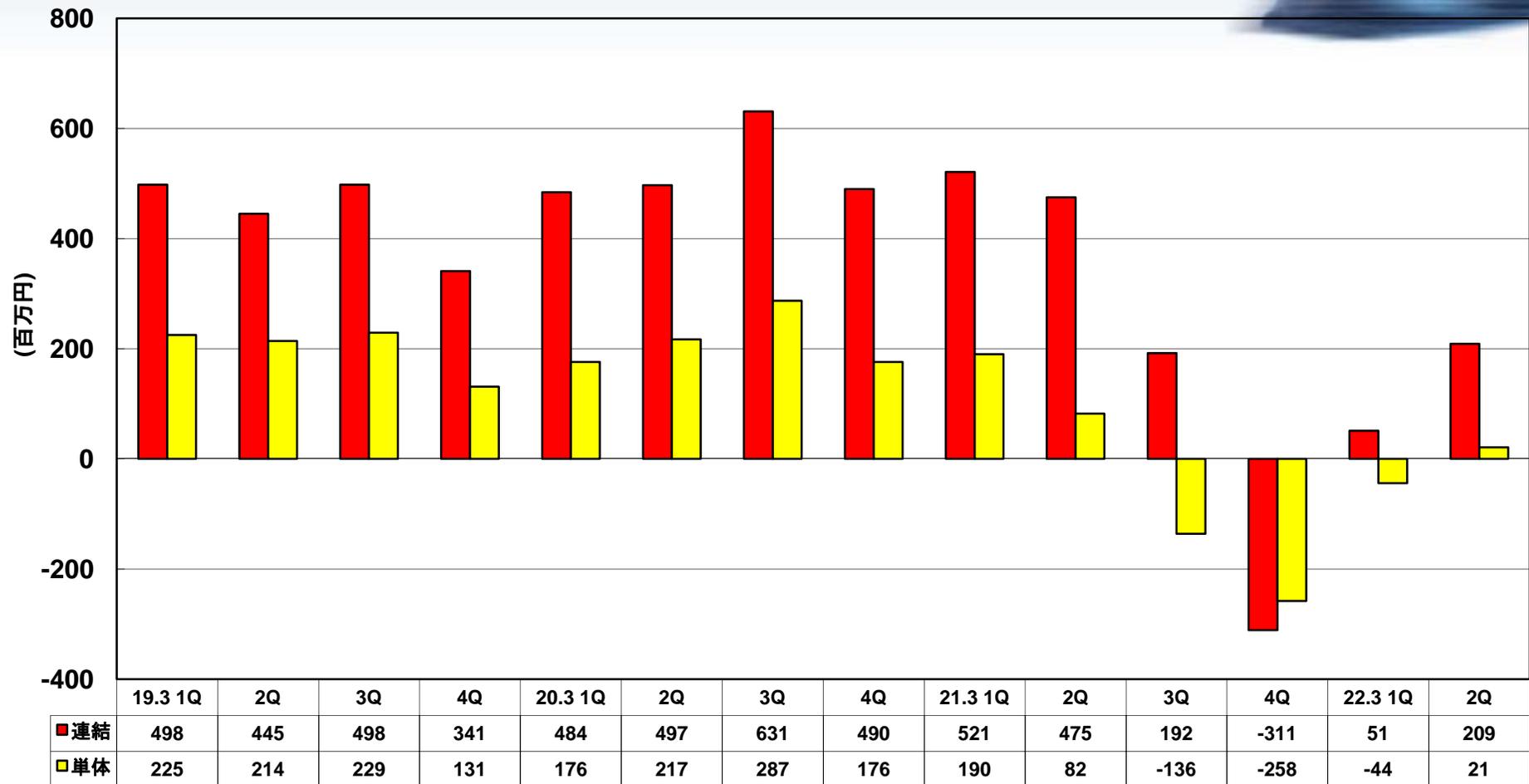
第2四半期累計業績のポイント

1)	売上高	27億41百万円	対前年比 38.4%減
	営業利益	2億60百万円	対前年比 73.8%減
	経常利益	2億61百万円	対前年比 74.7%減
	純利益	2億29百万円	対前年比 70.6%減
2)	薬品売上高	25億67百万円	売上高に占める割合 93.6% [前年同期 39億89百万円、89.7%]
3)	海外売上げ高比率	42.7%	前年同期 48.9%
4)	CZの売上げ高	14億24百万円	薬品売上高に占める割合55.5% [前年同期 20億50百万円、51.4%]

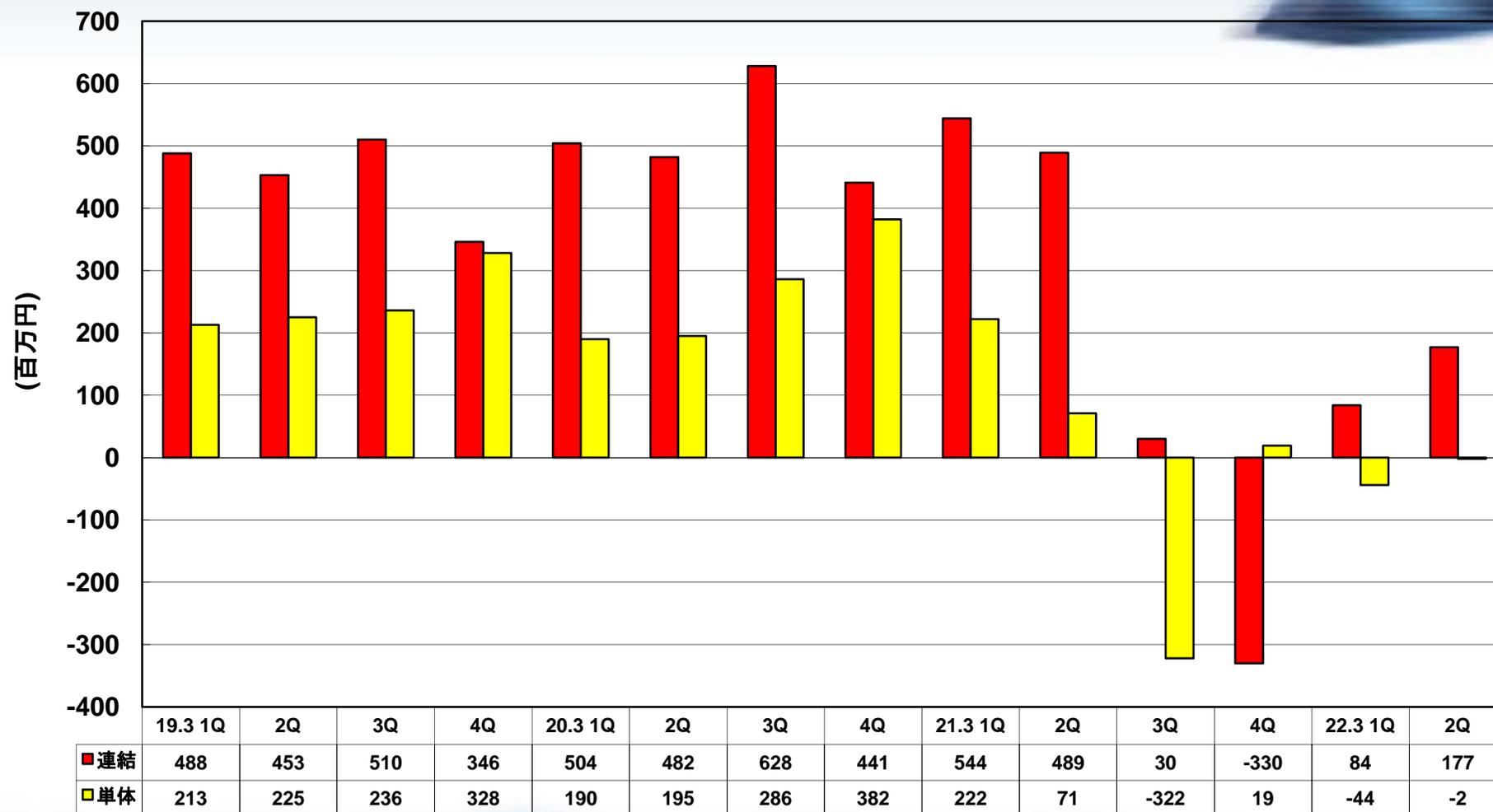
四半期 売上高推移



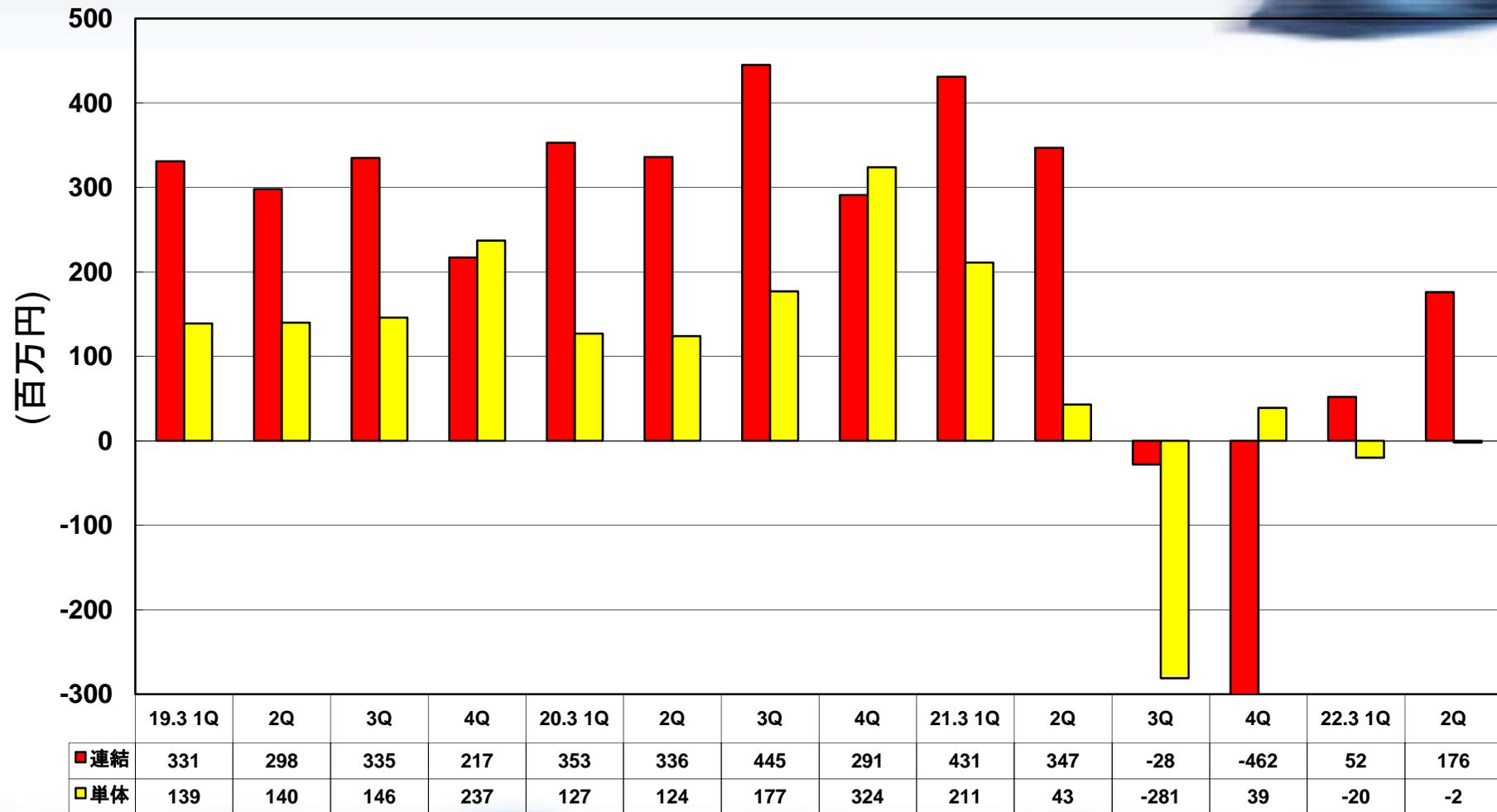
四半期 営業利益推移



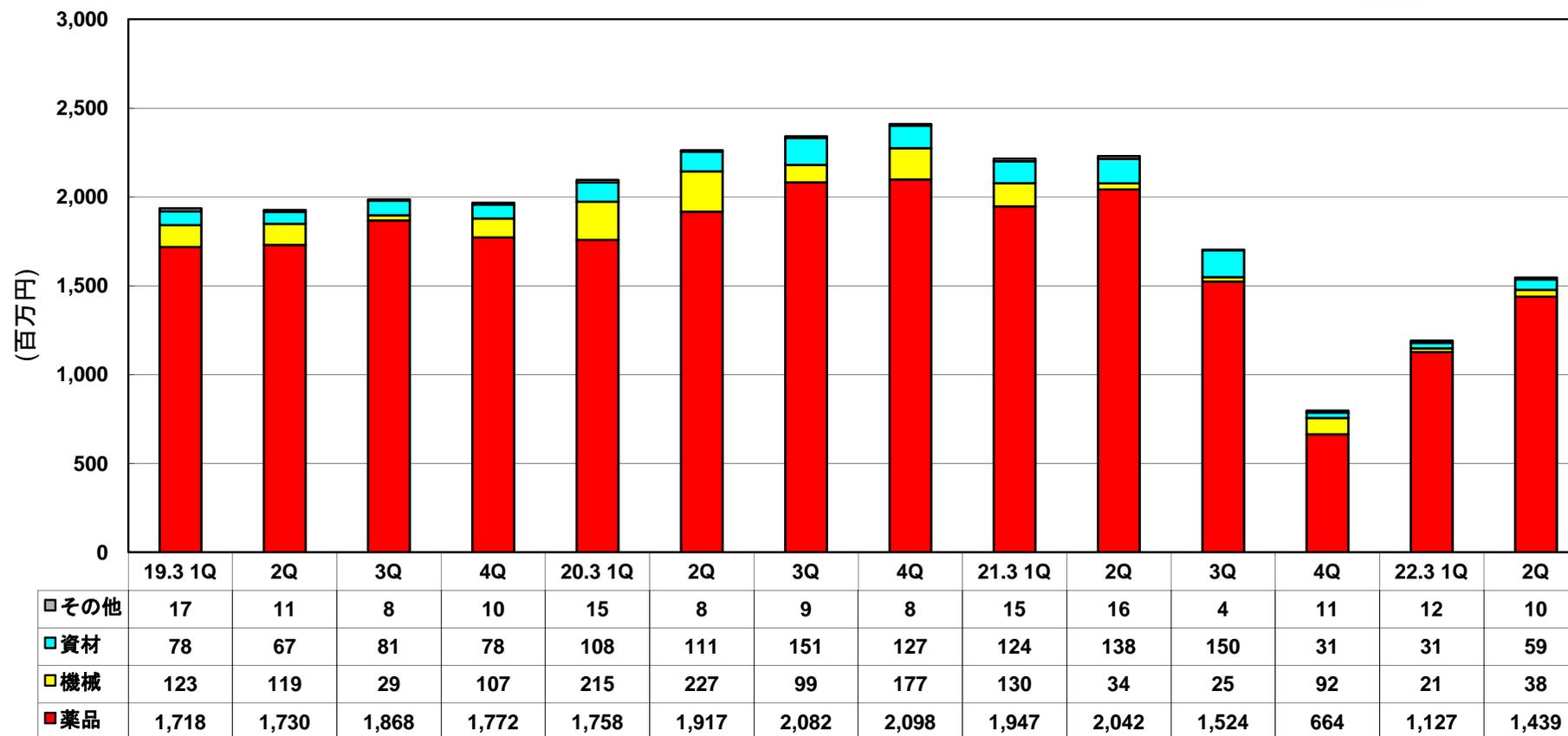
四半期 經常利益推移



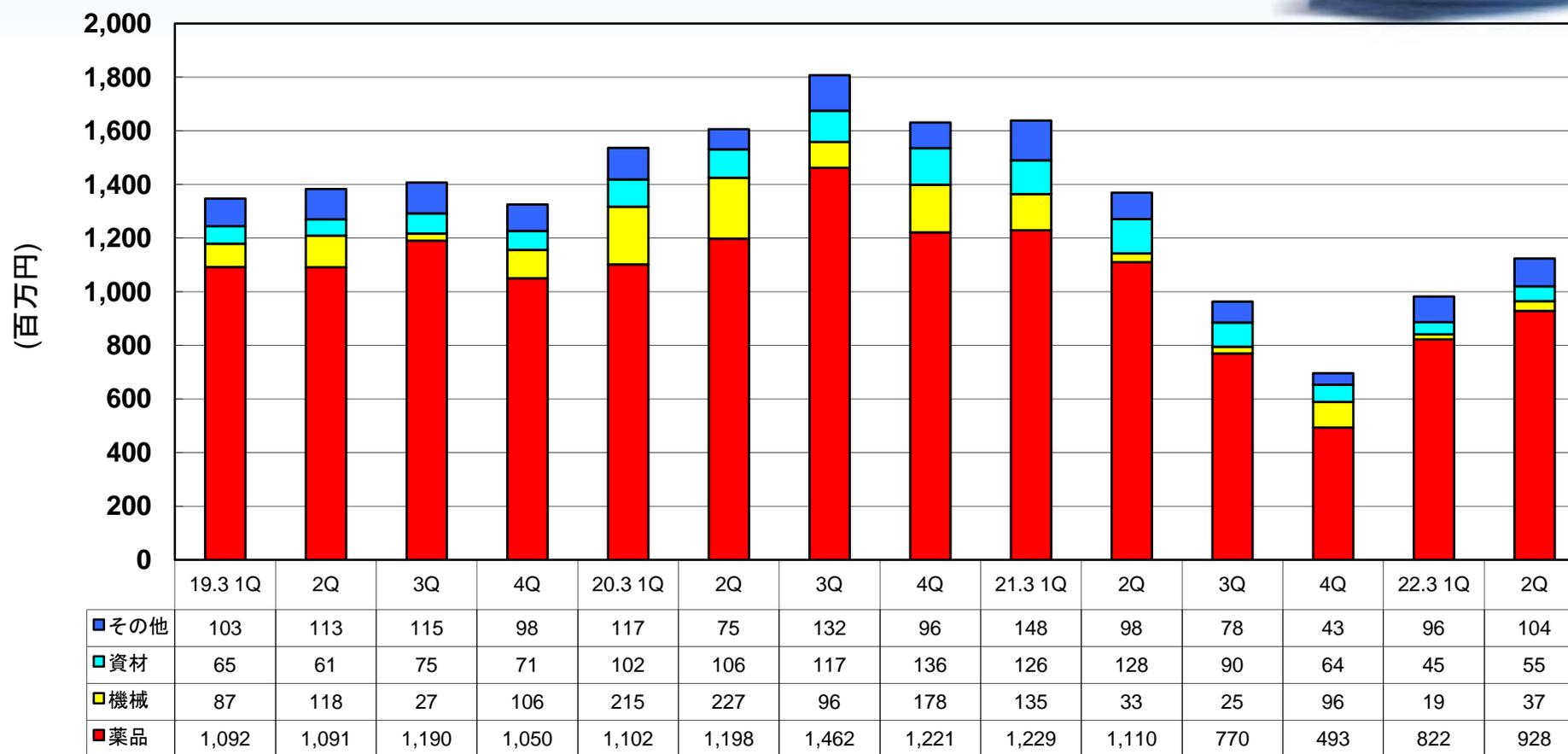
四半期 純利益推移



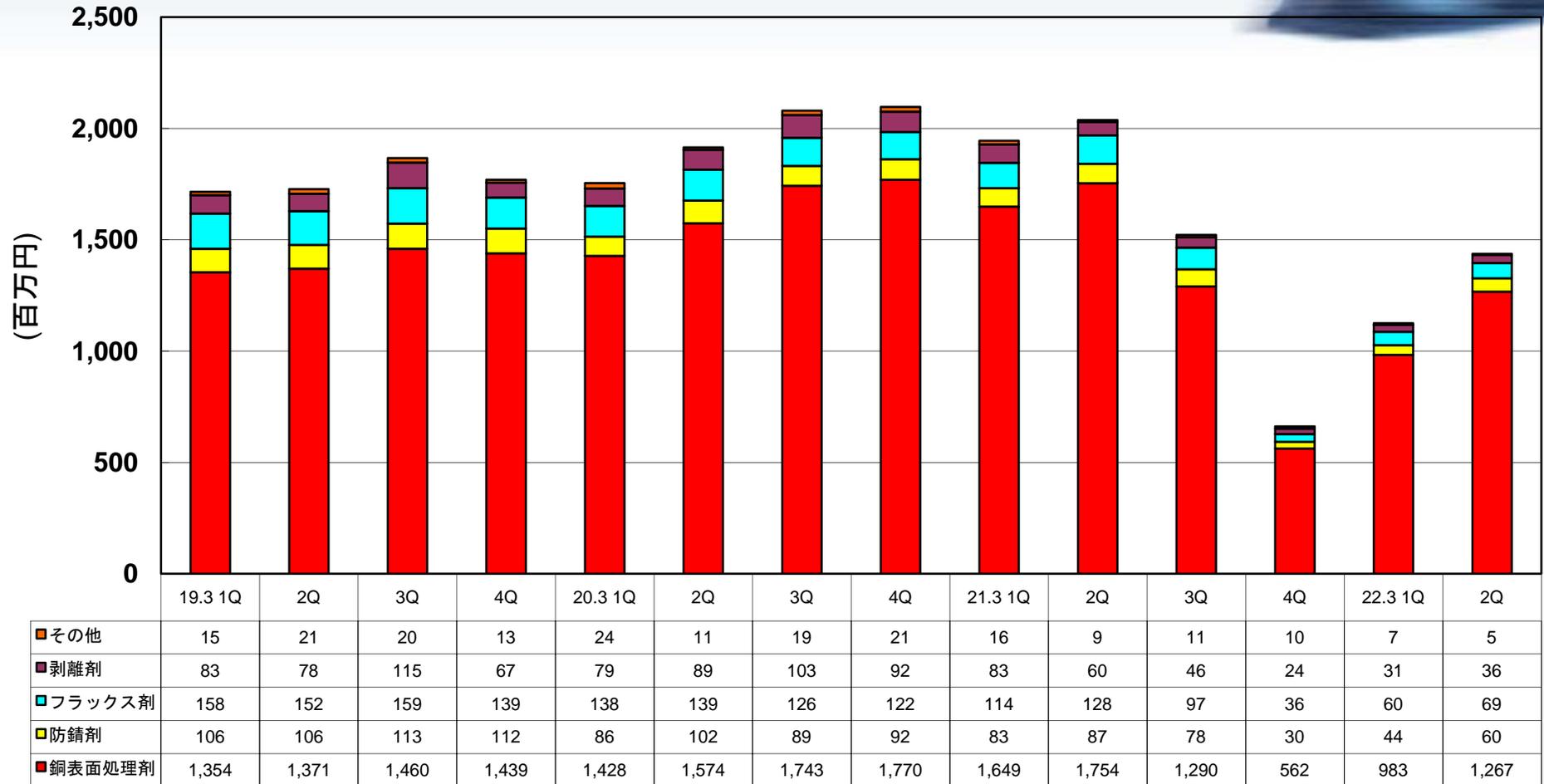
品種別四半期推移 《連結》



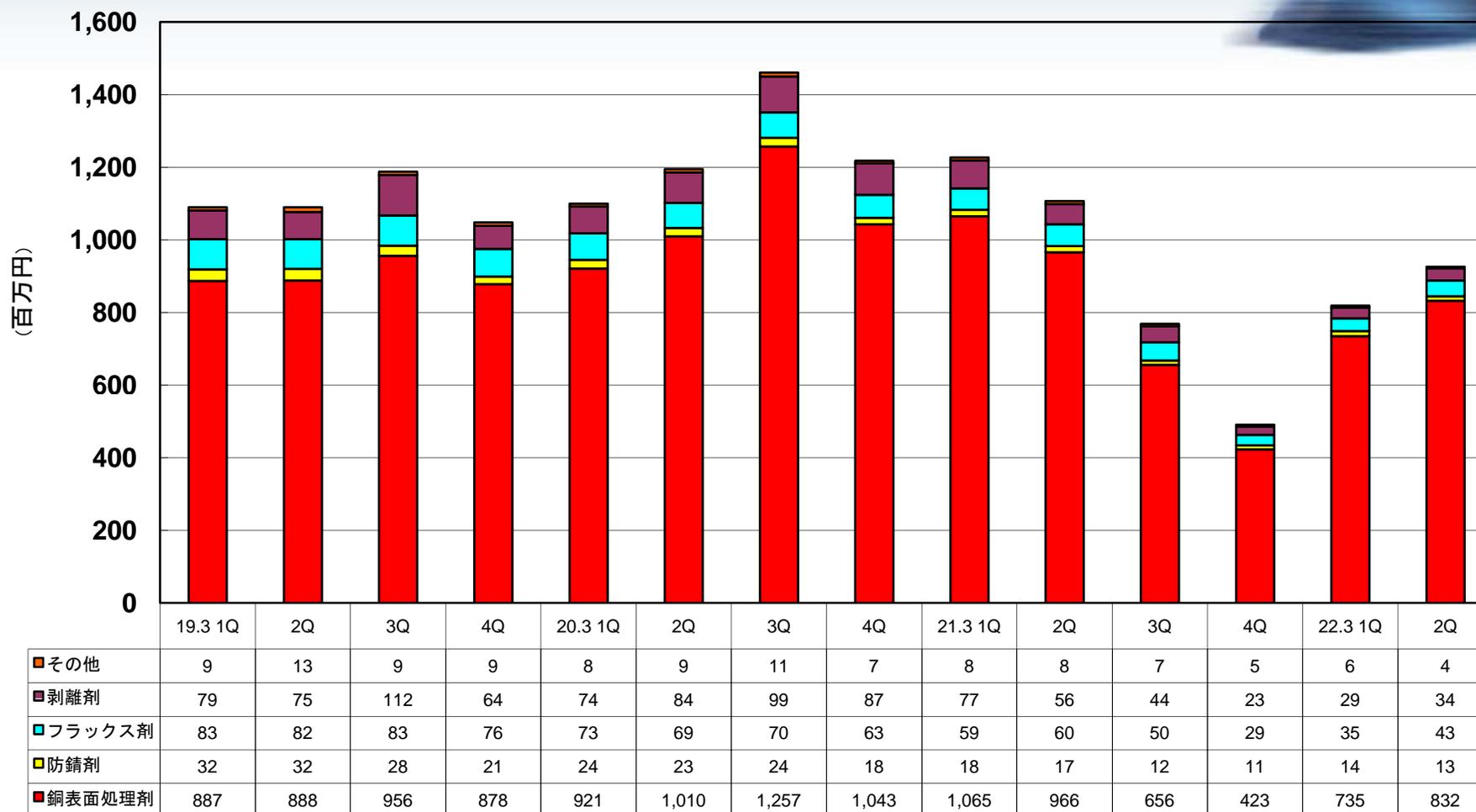
品種別四半期推移 < 単体 >



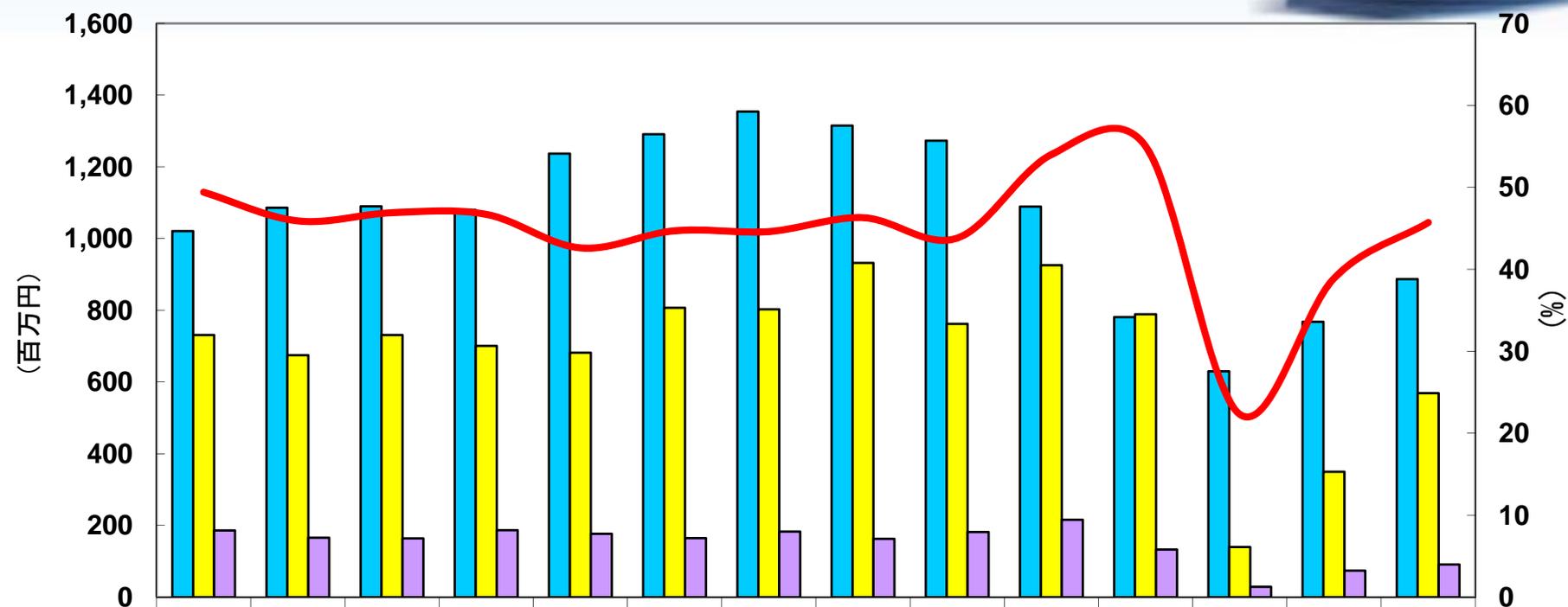
薬品別四半期推移 《連結》



薬品別四半期推移 < 単体 >

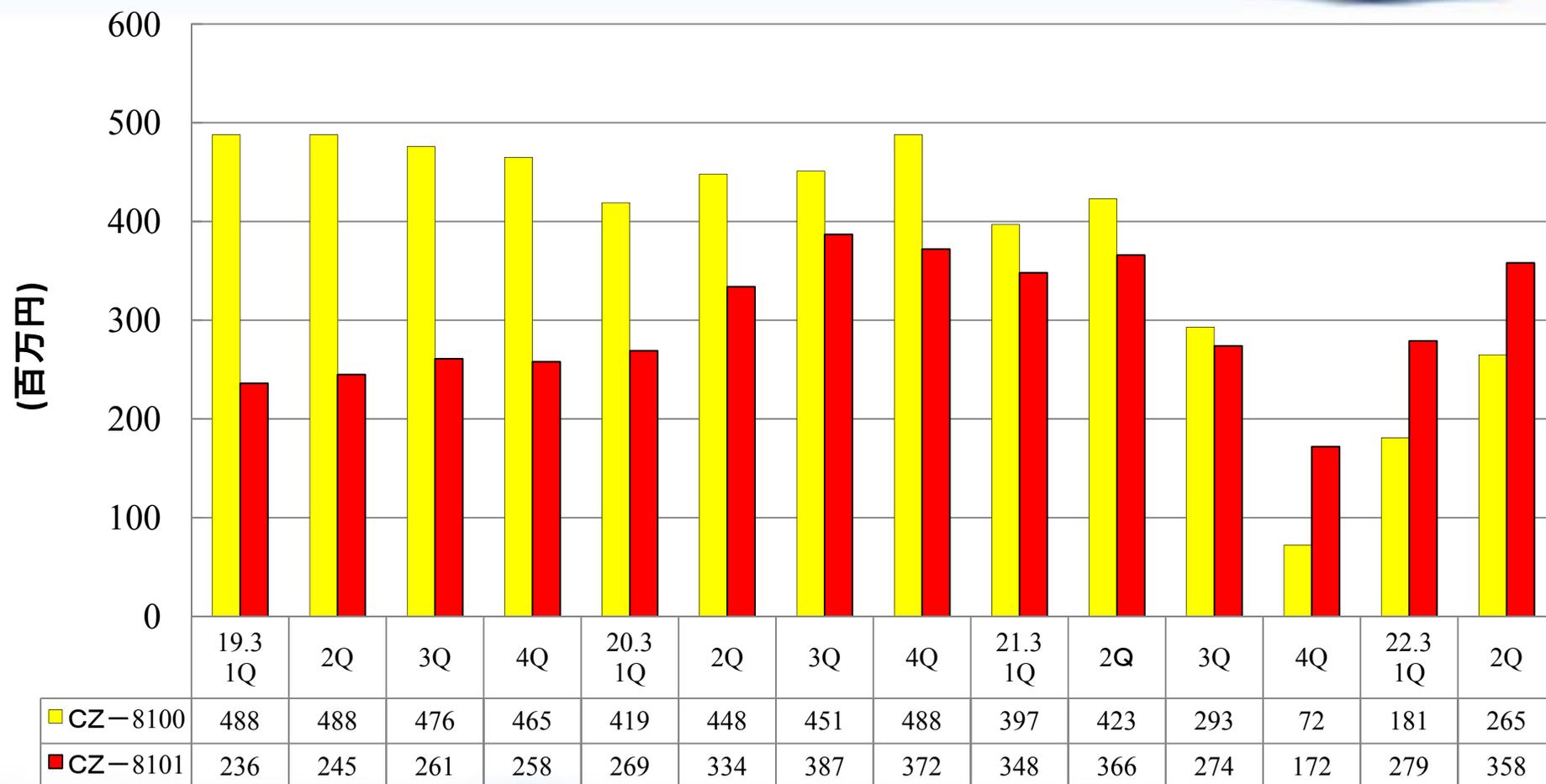


地域セグメント別売上高推移と海外比率



	19.3	1Q	2Q	3Q	4Q	20.3	1Q	2Q	3Q	4Q	21.3	1Q	2Q	3Q	4Q	22.3	1Q	2Q
日本	1,021	1,086	1,090	1,080	1,237	1,291	1,354	1,315	1,273	1,089	781	630	768	887				
アジア	731	675	731	701	682	807	803	932	762	926	789	140	350	569				
欧州	186	166	164	187	177	165	183	163	182	216	133	29	74	91				
海外売上高比率	49.4	45.9	46.9	46.7	42.6	44.7	44.6	46.3	43.8	54.0	55.0	22.3	38.9	45.7				

CZシリーズ売上高推移



第41期(平成22年3月期)計画

連結

	平成21年3月期	平成22年3月期		平成22年3月期		
	前期実績 (百万円)	当初予算 (百万円)	前回修正 (百万円)	今期修正予想 (百万円)	前期比 (%)	増減額 (百万円)
売上高	6,954	5,428	5,679	6,066	87.2	△888
営業利益	878	199	560	671	76.4	△207
経常利益	733	188	594	656	89.5	△76
当期純利益	287	8	287	341	118.5	53

単体

	平成21年3月期	平成22年3月期		平成22年3月期		
	前期実績 (百万円)	当初予算 (百万円)	前回修正 (百万円)	今期修正予想 (百万円)	前期比 (%)	増減額 (百万円)
売上高	4,673	3,821	4,091	4,529	96.9	△143
営業利益	△121	△378	△64	35	—	—
経常利益	△8	△110	252	337	—	—
当期純利益	11	△99	170	219	1829.3	207

前回修正は平成21年7月31日発表

メックを取り巻く事業環境



環境エネルギー技術の進化
省エネ、省電力、節水、
排気の低減、物流コスト低減

ムダを省いて、コストも安く
“環境エネルギー”が
企業の成長力の鍵に

メックの
ポジション

市場経済の発展を牽引



医療ネットワーク
超小型医療用機械



電気自動車(EV)

高速道路
交通システム(ITS)



デジタル放送への移行

次世代高速無線システム

車(EV)



モバイル機器



医療



融合し、新たな市場



FPDテレビ・
ゲーム機



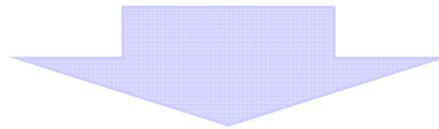
パソコン

◎ 世界にネットワークを持っている！
◎ メックの技術は全ての将来に関わっている！

現況の対応

まずは、

- ・輸送コストと薬品原材料コストの低減
- ・外部委託業務を社内に取り込み
- ・人件費の抑制



さらに、

- ・お客様のコスト低減と当社の利益拡大を両立する開発
 - 濃縮タイプ、添加剤タイプ、ハイキャパタイプで効率化
 - ムリ・ムダを省いて、環境に配慮しつつ低コストを実現
- ・商品力とネットワークを活かし、得意分野での圧倒的なポジションの獲得を目指す。
- ・新分野への足がかりを作る。

今後の計画ポイント

1. 客先の環境負荷低減に寄与する取り組み
2. 環境対応多層基板向けプロセスへの展開
(日本を含む東アジア)
3. 高密度基板プロセスの開発
(日本・台湾等)